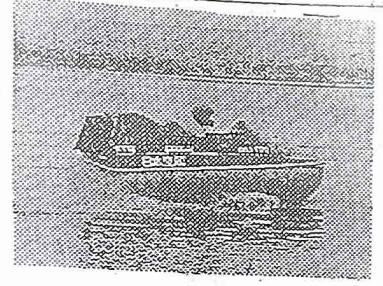


1人乗りで超小型

ホーバークラフト開発

日本空艇

「太田」日本空艇(群馬県邑楽郡大泉町吉田二二二)一七、社長齋藤一夫氏、五〇二七六(62)四一四四)は一人乗りの超小型ホーバークラフト「NK 28スタンダード」写真」を開発した。ホーバークラフトは三井造船が大型船を手掛けているが、小型艇を開発したのはこれが



機に本格的な販売に乗り出す。価格は約百五十万円。

同ホーバークラフトは縦一・八、横一・四五、従来、最小型とみられていた英国の艇に比べても艇長で約四十センチ、超小型機。エンジンは小松ゼンアと石川島播磨重工業のもので開発を進めてきたが、騒音、振動面から二気筒、排気量四百四十cc、三十一・五馬力の石播製を採用する計画。一つのエンジンで推進と浮上を行う方式で、出力の三分の二を推進し、残りを浮上に使う。浮上力は約二十五kgで、推進力は三十五kg。超小型だが、バランスのとれた設計のため「水面上で一回転

できるなどの、ダンス、が踊れる(齋藤社長)と高性能であるほか①浮上をつかさどる、スカート、部分はファスナー脱着式で交換が簡単②エンジン、フロペラがダクト内に収納しており、安全性が高い③重量が百八kgと軽量の燃費が良いなどが特徴。

用途はレジャー用が中心だが、水面上のほか、雪、氷、芝生上も使える水陸両用で、ゴルフ場の薬剤散布などにも使えるとしている。

生産は本社工場で月間三十台の生産能力があるが、自社で行うか、他社に生産委託あるいは製造権を譲渡するか現在、検討中。販売は来春からだが、すでに外国大使館を通して一千台を超える輸出引き合いがあり、国内のレジャー施設からもすでに引き合いがあることから、早急に販売代理店網を確立し、国内外で本格販売に乗り出す。

日刊工業新聞

THE DAILY INDUSTRIAL NEWS

